

11月は長崎県ケアラー支援月間です

長崎県ケアラー支援シンポジウム2024

ひとりにしない、 社会で支える ケアラー支援

ケアラーが援助を受ける人とともに、安心して人生を送ることができる地域共生社会の実現を目指し、ケアラー支援について一緒に考えてみませんか。

●日時：2024年11月16日(土) 13:30~16:00

●場所：長崎県庁1階大会議室(長崎市尾上町3番1号)

※基調講演のみライブ配信を行います。

基調講演

「ケアラー支援の現状 ~ケアラーを孤立させないために~」

一般社団法人 日本ケアラー連盟 代表理事

NPO法人 介護者サポートネットワークセンター・アラジン 理事長 牧野 史子 氏

セミナーA

「地域でつながる ~民間ケアラー支援団体の活動~」

長崎シングル介護を考える会 世話人

毛利 真紀 氏

あいネットつしま 代表

脇山 武士 氏

セミナーB

「子どもの未来を支えるために ~ヤングケアラーへの理解と支援~」

長崎国際大学 人間社会学部 社会福祉学科 准教授

梅野 潤子 氏

ケアラーサポート悠々 コンシェルジュ

Kotaro 氏

●詳細やお申込み方法は、[裏面](#)をご覧ください。

ひとりにしない、社会で支える ケアラー支援

家族の介護等を行うケアラーが、誰にも頼れずに孤立したり、心身が疲弊してしまうことが問題となっています。県では11月を「長崎県ケアラー支援月間」とし、社会全体で支える仕組みの構築に取り組みます。

基調講演

ライブ配信あり

「ケアラー支援の現状 ～ケアラーを孤立させないために～」

一般社団法人 日本ケアラー連盟 代表理事
NPO法人 介護者サポートネットワークセンター・アラジン 理事長

牧野 史子 氏

千葉大学教育学部卒業。
1995年阪神大震災の仮設住宅支援活動中に「介護者の孤立」に着目し、支援活動をスタート。2001年東京にて「介護者サポートネットワークセンター・アラジン」を設立。以来、「介護者の会」や「ケアラーズカフェ」など孤立しがちな介護者を地域へつなげるしくみづくりを推進している。最近では、ヤングケアラーに寄り添う支援の実践および看過されがちなミドル世代のシングルケアラー、さらにポストケアラーの孤立や心身の健康に焦点をあて、社会へ発信をしている。また2010年一般社団法人 日本ケアラー連盟の設立に加わり、代表理事のひとりとして「ケアラー支援推進法」の制定におき、活動を展開している。



タイムスケジュール

- 13:00 受付開始
- 13:30 シンポジウム開始・基調講演
- 14:40 休憩
- 15:00 テーマ別セミナー
A:地域でつながる
～民間ケアラー支援団体の活動～
B:子どもの未来を支えるために
～ヤングケアラーへの理解と支援～
- 16:00 シンポジウム終了

※テーマ別セミナーは、申込み時にA・Bのどちらかひとつを選択いただき、希望する方に参加していただきます。

※基調講演のみライブ配信を行います。
テーマ別セミナーを含む全体の映像は、後日公開します。

セミナーA

ライブ配信なし
映像は後日公開

「地域でつながる ～民間ケアラー支援団体の活動～」

県内でケアラー支援に携わる2つの団体に、活動内容や取組の現状、感じていることなどをお話し頂き、ケアラー支援の大切さについて理解を深める機会とします。

長崎シングル介護を考える会 世話人

毛利 真紀 氏

2012年11月から奇数月の最終土曜日にシングルケアラー（独身でケアを担っている人）またはシングルケアに関心のある人の交流会を開催。2023年度より会員制をやめ、どなたでも参加できるよりオープンな活動へ。当事者の声や想いを傾けることを大切に、シングルケアラーが抱えるモヤモヤを吐露できる居場所づくりを模索中。活動目標は、シングルケアラーの「想い」とシングルケアラーをめぐる「課題」を社会に広く知ってもらうこと、会がそこに「あり続ける」こと。



あいネットつしま 代表

脇山 武士 氏

あいネットつしまは、2003年に対馬で活動を開始し、これまで「地域療育支援体制の整備・強化」を大きな活動目的に、研修会や学習会、イベントの企画運営を行ってきた。近年では、支援を必要とする子どもたちやその家族、支援者等を対象としたイベントの開催が中心の活動となっており、イベント開催時にはプログラムの中に保護者懇談会を入れるなど、家族を含めた「参加者同士のつながり」を意識した企画・運営を心がけている。

セミナーB

ライブ配信なし
映像は後日公開

「子どもの未来を支えるために ～ヤングケアラーへの理解と支援～」

ヤングケアラーと呼ばれる子どもたちが抱える日々の負担や悩みを正しく理解し、共感を深めるとともに、支援の手が届きにくい現状を知り、どのようにサポートできるかを当事者の経験談を踏まえて学びます。

長崎国際大学 人間社会学部 社会福祉学科 准教授

梅野 潤子 氏

専門は児童福祉。支援過程において「子どもの参加をどのように促進するか」というテーマに関心を持っている。2020年度より、長崎県内の児童相談所・市町や児童養護施設等の職員の方々とともに、よりよい支援に向けた実践研究に取り組んでいる。また、県内自治体・社会福祉法人の児童福祉・社会福祉分野の各種委員やスーパーバイザーも務めている。所属大学では、社会福祉士とスクールソーシャルワーカーの養成を担当。



ケアラーサポート悠々 コンシェルジュ

Kotaro 氏

長崎県出身の作業療法士。
ヤングケアラー・若者ケアラースピーカー。
10代の頃から約15年間、精神疾患の母親のケアを行ってきた。現在は他県のヤングケアラー支援事業に携わり、相談窓口の相談員や、オンラインコミュニティ・オンラインサロンの運営に携わっている。また、介護保険外サービスの営業兼訪問員も行っており、高齢者や障がい者だけでなく、その家族も安心して暮らすことができる地域づくりを目指している。



申込方法

会場、またはオンラインで参加できます。スマートフォン等からQRコード、またはURLを読み込み、必要事項を入力してお申込みください。
URL: <https://forms.office.com/r/Kfye3Sj0JH>

参加申込フォーム



会場

長崎県庁1階大会議室（長崎市尾上町3番1号）
*お越しの際は、公共交通機関をご利用ください。

お問い合わせ

長崎県長寿社会課 ☎095-895-2434